

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第8号
令和元年8月30日発行
文責 中村

日奈久プライド「えがお・やるき・げんき」

さあ、2学期の始まりです。～ひなぐプライドグレードアップ! (校長講話より)

5つの目標の中の、3つについて話をします。

1つめは挨拶についてです。今日、廊下で出会った1, 2年生が自分から挨拶をしてくれて、とてもうれしかったです。夏休み中にも何人かの日奈久小の子どもに会いました。自分から挨拶してくれた人もたくさんいました。でもなぜか、挨拶ができない人もいました。はずかしいのかな? 学校ではするけど、他の場所ではしない人なのかな? と思いました。

8月24日に、マルショクで募金活動がありました。参加していた4～6年生は、募金された方に「ありがとうございます」と明るい声で言っていました。言われた人はにこにこ顔でした。校長先生は「心が通じ合っているなあ」と思いました。あいさつは、「相手の気持ち」を思うことからはじまります。はずかしいからとか、気分が悪いからとか「自分の気持ち」だけを考えていると気持ちのよい挨拶はできません。挨拶するかしないか、どんな挨拶をするかで、仲良くなるか、仲が悪くなるか決まると言ってもいいくらいです。みなさん、これからも、いつでも、どこでも、誰とでも、「相手を意識」して、気持ちよいあいさつを交わしてください。

2つめは「話を聞いて、『なっとく!』『はてな?』を言葉で伝えよう」です。みなさんは、学校の授業で対話をしていますね。気持ちよく、前向きな対話にするためには、相手の話をしっかりと聞き、相手の話を受け止めてから自分の考えを伝えることが大切です。その中で、「相手の話の受け止め方」について考えてみましょう。

5年生の国語の対話の時、友だちの意見に「ああ!」「たしかに～」等の言葉を返していました。3年生の外国語活動の対話の時、友だちの話に「I see」とか「Me too」等の言葉を返していました。とてもいいなあと思いました。これも「相手意識」が大切です。相手に「あなたの話をちゃんと聞きましたよ。」と伝えているんですね。話した相手は安心します。皆さんも、それぞれの学級で、気持ちのいい前向きな対話には、どんな返しの方法があるのかを発見して練習してみてください。そして校長先生にも教えて下さいね。

最後に「どんなかんじかなあ」という絵本を聞いて下さい。(省略)

ひろくんは、目の見えないまりちゃん、耳の聞こえないさのくん、お父さんとお母さんがいないきみちゃんの事を考えています。また、きみちゃんは、体を動かせないひろくんの事を「どんなかんじかなあ」と考えました。まりちゃんやさのくんやきみちゃんは、ひろくから考えてもらってうれしかったです。ひろくんもきみちゃんの言葉から元気をもらっています。校長先生は、「ひろくんやきみちゃんは相手のことを考えて『ありがとう』の心で言葉を使っているなあ。」と思いました。皆さんは、どう思いましたか?

みんなの周りにも、いろんな個性を持った人やいろんな環境で育った人たちがいます。みんなが、いろんな人たちと関わりお互いを分かりあって暮らしていける世の中にしていきたいなあ校長先生は思います。

5つの目標

- え あいさつ と へんじは いつでもどこでも、だれとでも・気持ちよく
- え あいてのことをかんがえて、「ありがとう」のこころで ことば をつ かあう
- や はなしをきいて、「なっとく!」「はてな?」をことばで つたえよう
- や 自分で気づき 考え こうどうしよう。しゅくだい そつじ を つづける。
- げ 心をととのえ、おちついたせいかつをしよう。はきものの かかと をそろえる。



たっぷり眠っていますか?



29、30日に身体測定がありました。みんな体が成長していました。測定後、生活リズム(食事・睡眠・運動)についてビデオ鑑賞と上野先生からのお話がありました。お子様は「早寝・早起き」ができていますか?小学生は8～9時間寝る必要があると言われています。

睡眠をとる理由は・・・①体と頭の疲れをとる②脳の中の情報を整理する

睡眠が不足すると・・・①疲れがとれない②脳の働きが低下する③朝ご飯が食べられない④風邪を引きやすくなる⑤体が早く老化する

「もりもり食べて、しっかり動いて、たっぷり眠る」これが子どもの「えがお・やるき・げんき」のもとです。勉強や運動に集中できる元気な子どもを育てましょう!!